株主・投資家の皆様へ

第51期　年次報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

ジーエフシー株式会社

証券コード：7559

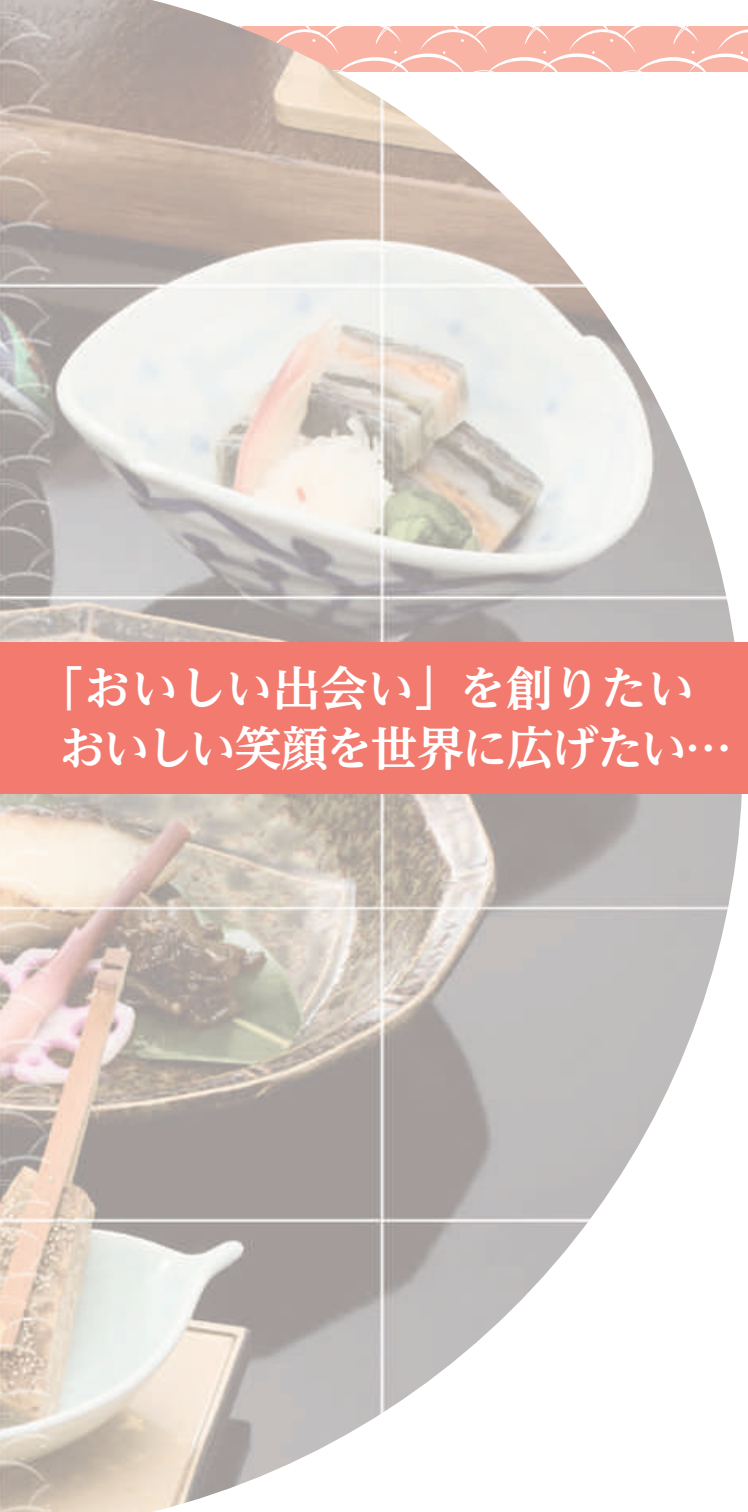
基本理念
食文化のゆとりと夢を創造します

経営理念

得意先には、サービス精神を
仕入先には、安心と安全を
株主には、企業価値の増大を
社員には、楽しさと生きがいを
地域社会には、奉仕の心を
もって社会の一員として
会社の発展を目指します

目次

基本理念
経営理念 ―― 1
株主の皆様へ ―― 2
事業の概況 ―― 3
GFCの機能と特徴 ―― 5
グループの概要 ―― 6
連結財務諸表 ―― 7
個別財務諸表 ―― 9
トピックス ―― 11
株式の状況 ―― 12
会社の概要 ―― 13



「おいしい出会い」を創りたい おいしい笑顔を世界に広げたい…

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに当社グループの第51期年次報告書をお届けするに当り、ひとことご挨拶申しあげます。

当社グループは、「おいしい出会い」を創りたいとの想いを胸に、業務用加工食材の企画・製造・販売業務を通して、日本の食文化の素晴らしさを全国に広めてまいりました。

また、日本国内のみならず、世界中に日本の食文化の素晴らしさを広めるとともに、世界の食材を日本国内に広め、新しいおいしさとの出会いを提案してまいりました。

おいしさに出会うと、
笑顔が広がる･･･和が広がる。

当社グループは、日本人の食生活や健康、笑顔に貢献し、人類の豊かな未来に向けた食文化の発展をサポートすべく、役員、従業員一同、努めてまいりたいと存じます。

今後とも皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2023年6月

代表取締役社長 [illegible]

● 事業の概況

(1) 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にともなう行動制限が徐々に緩和され、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、景気は緩やかに持ち直しております。ただし、各種原材料やエネルギー価格の高騰などにより、物価高の影響が本格化してきており、加えて、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクが懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である観光産業や外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大期からウィズコロナ時代へ、消費者の行動変容とともに食に関わるビジネスのあり方やニーズが大きく変化してきております。また、行動制限が緩和され、需要が回復しつつある中、観光産業や外食産業を取り巻く経営環境は、物価高や人手不足の影響により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、世の中の変化を的確に捉え、顧客との繋がりを大切にするとともに、変化と要望を把握し、顧客に寄り添った提案やサービスの提供を行うことにより、珍味やお節など『和食を中心とする業務用加工食材の企画・製造・販売』という当社のコア事業を強化し、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現と更なる企業価値向上を目指してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高212億97百万円（前年同期比27.4％増）、営業利益６億57百万円（前年同期は営業損失１億57百万円）、経常利益６億86百万円（前年同期は経常損失59百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益４億55百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失42百万円）となりました。

(2) 対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症も終息に向かう中、市場規模が縮小した観光産業や外食産業にも回復の兆しが現れ、景気が持ち直していく事が期待されております。

その一方で、コロナ禍で消費者の行動様式も大きく変容し、ウィズコロナ時代における観光産業や外食産業のニーズを的確に捉え、スピード感をもって対応していく事が求められております。

このような状況の中、当社グループは、珍味やお節など和食を中心とする業務用加工食材の企画・製造・販売というコア事業に軸足を置き、これまで培ってきた価値観を大切にしながらも、今の時代に沿った新しい価値を提供し、ジーエフシーのブランドを再構築してまいります。

そして、以下の５つの課題に取り組み、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現と更なる企業価値の向上を目指してまいります。

① コア事業の強化

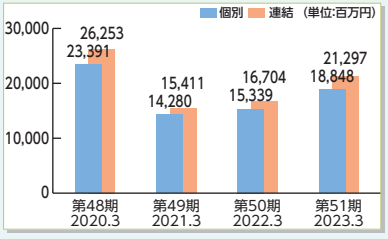
新型コロナウイルス感染症の拡大期からウィズコロナ時代へ、消費者の行動変容と共に、食に関わるビジネスのあり方やニーズが大きく変化してきております。

当社グループは、このような世の中の変化を的確に捉え、顧客との繋がりを大切にするとともに、変化と要望を把握し、顧客に寄り添った提案やサービスの提供を行うことにより、珍味やお節など和食を中心とする業務用加工食材の企画・製造・販売という当社のコア事業を強化してまいります。

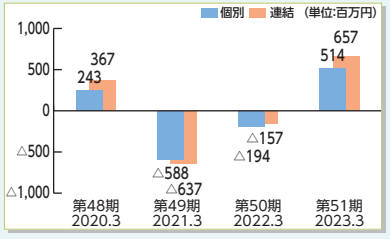
② グローバル事業の強化と商品の拡充

「グローバル事業への商品の拡充」については、更なる成長が期待できるASEANのマーケット獲得のために、各国の有力企業との取引を通じた商品展開を進めるだけでなく、グループ会社とともに、ASEAN市場での更なる和食文化の発展と成長を目指し、当社の強みであ

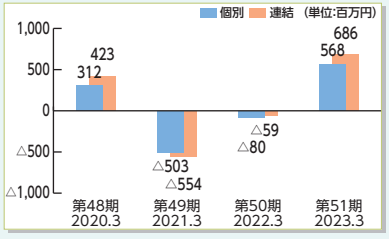
◆売上高



◆営業利益又は営業損失



◆経常利益又は経常損失



る広範な商品企画力を生かし、グローバル市場に通用する商品開発力を強化いたします。

そして、日本の誇れる“食文化”であるわが国特有の『和食』を訴求できるように、ASEAN市場を中心としたグローバル市場に投入する商品を充実させてまいります。

③ 新規事業分野の開拓

珍味やお節など和食を中心とする業務用加工食材の企画・製造・販売というコア事業の強化を推進しつつ、事業環境の変化に応じた新たな事業分野の開拓を加速させることで、収益性の改善や事業領域の見直しを引き続き進めてまいります。

中食や老健、通販業界での新規顧客の開拓や、一般消費者向けの販売体制を強化しつつ、加えて、今後の新しい生活様式に基づく消費行動、マーケットにマッチした商品開発に注力いたします。ウィズコロナの時代にあわせ、新たなマーケットに向けて、当社グループが連携して商品開発を推し進め、当社ブランドであるPB商品を拡充してまいります。

④ 人材の高度化

社会が大きく変容していく中で、改めて初心と基本を徹底するとともに、従業員の成長や自己実現・健康を重視し、多様な人材が活躍できる仕組み・風土構築を通じて、働きがいのある企業文化の向上に努めてまいります。

従業員が仕事を通じて自己実現を図り、より高い成果が生み出せるよう、職場風土・環境の整備に取組み、働き方改革を通した生産性の向上と企業価値の向上、健康経営を積極的に推進し、従業員一人ひとりの成長と会社の持続的な発展を目指し、各種制度や職場環境の整備を進めてまいります。

⑤ 経営管理の高度化

当社グループはこれまで、観光産業や外食産業を中心に事業展開してまいりましたが、経営環境の変化に伴う収益基盤の強化は大きな課題であり、市場でのコストダウン圧力に加え、仕入原価、物流費、人件費の高騰による収益構造の悪化は喫緊の課題であります。

また、食品を取り扱う企業として、商品の品質確保は最も重要な責務です。加えて、自然災害や感染症の拡大等、リスクに備えた管理体制の更なる強化が求められます。

これらの経営環境の変化に合わせた課題を克服するために、グループ会社含めすべての人材の強化を図り、一体となって再構築を実現し、部門採算管理、グループ経営管理の高度化の実現を推進してまいります。

当期（連結）の状況

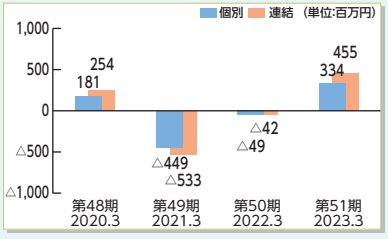
売上高
212億97百万円
（前年同期比27.4％増）

営業利益
6億57百万円
（前年同期は営業損失1億57百万円）

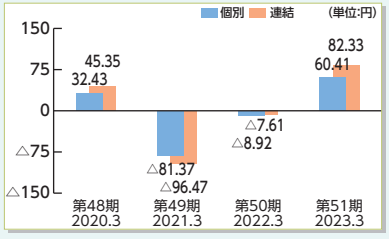
経常利益
6億86百万円
（前年同期は経常損失59百万円）

親会社株主に帰属する当期純利益
4億55百万円
（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失42百万円）

◆親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失／当期純利益又は当期純損失



◆1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失



◆ GFCの機能と特徴

当社は、主に業務用加工食材を取扱う、一次卸売業です。当社の特徴は、料理人の方々をサポートする食材を専門に取扱ってきたことにあります。

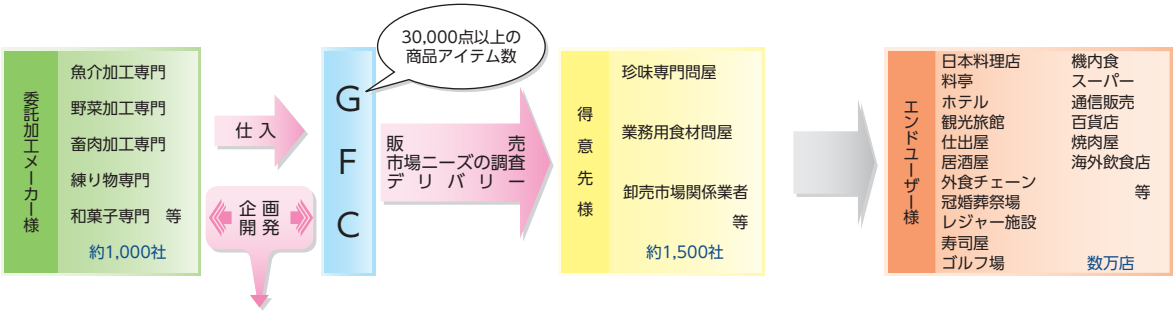
時代背景を元に、調理場・セントラルキッチンのニーズを収集し、様々な商品を企画・開発・販売することによって、事業を拡大してまいりました。

当社では、手作り感のある付加価値の高い商品を30,000点以上取扱い、幅広く、使い勝手の良い食材をお客様のニーズに合わせて提供しております。

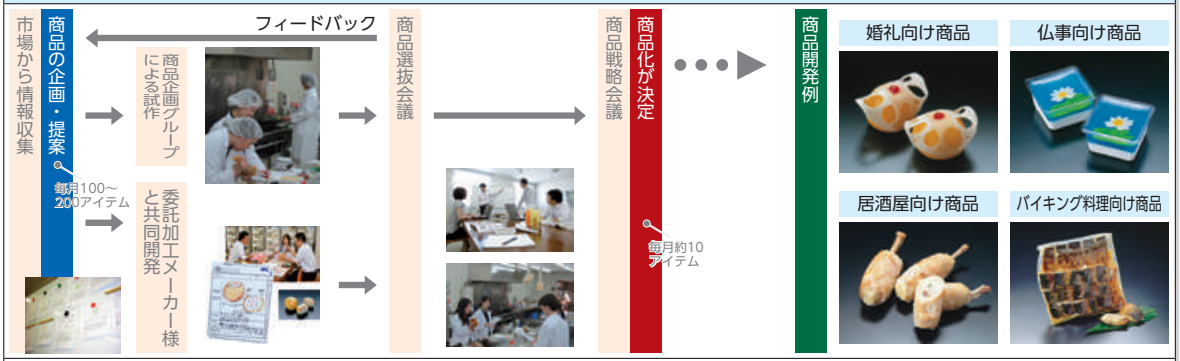
取扱商品の特徴

人手不足を補う完成度の高い商品	下拵えの手間を省いた商品	献立・メニューの種類を増やす完成品	希少価値の高い商品	料理演出に使用するツール

取扱商品の企画開発・流通フロー図



商品企画・開発

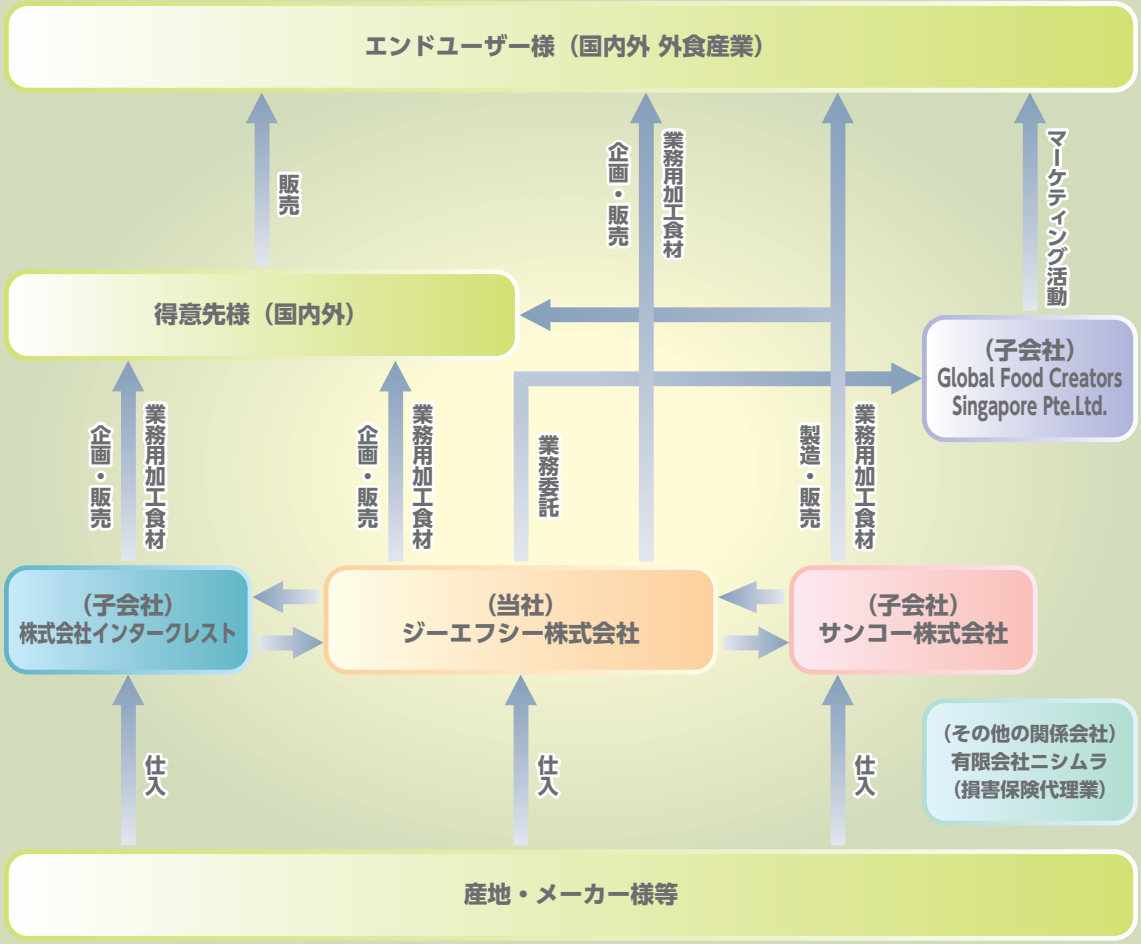


営業活動等により収集した市場ニーズをもとに、当社と委託加工メーカー様が、お互いのノウハウを活かしながら、新商品の企画開発を実施

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、連結子会社3社及びその他の関係会社で構成され、その主な事業内容は、観光旅館、ホテル、冠婚葬祭場、その他外食産業で使用される業務用加工食材の企画・製造・販売であります。当社グループ内における当社及び連結子会社の位置付けは、次のとおりであります。

●業務用加工食材の企画・販売……当社（ジーエフシー株式会社）
株式会社インタークレスト
●業務用加工食材の製造・販売……サンコー株式会社
●海外市場におけるマーケティング活動……Global Food Creators Singapore Pte.Ltd.

事業の系統図は次のとおりであります。



連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	前期（2022年3月31日現在）	当期（2023年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	**11,876,178**	**13,056,280**
現金及び預金	7,831,529	8,319,557
受取手形	89,985	164,130
売掛金	1,791,631	2,268,632
有価証券	1,300,000	1,200,000
商品及び製品	742,907	974,428
原材料及び貯蔵品	62,622	68,117
その他	62,813	65,874
貸倒引当金	△5,310	△4,460
固定資産	**6,365,131**	**6,214,387**
有形固定資産	**4,336,382**	**4,272,962**
建物及び構築物	517,130	472,277
機械装置及び運搬具	65,779	55,171
土地	3,706,311	3,706,311
建設仮勘定	–	2,160
その他	47,160	37,041
無形固定資産	**61,026**	**55,311**
ソフトウェア	32,456	26,741
その他	28,570	28,570
投資その他の資産	**1,967,723**	**1,886,114**
投資有価証券	1,278,888	1,394,640
繰延税金資産	293,478	137,016
退職給付に係る資産	205,364	195,879
その他	203,924	162,902
貸倒引当金	△13,932	△4,324
資産合計	**18,241,310**	**19,270,668**

科目	前期（2022年3月31日現在）	当期（2023年3月31日現在）
負債の部		
流動負債	**1,622,546**	**2,367,730**
支払手形及び買掛金	1,058,361	1,615,159
短期借入金	140,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	12,120	44,000
未払法人税等	17,435	15,611
賞与引当金	127,034	129,292
役員賞与引当金	5,400	3,090
その他	262,196	260,576
固定負債	**543,521**	**498,383**
長期借入金	200,000	156,000
役員退職慰労引当金	98,511	101,442
退職給付に係る負債	175,136	172,535
その他	69,873	68,406
負債合計	**2,166,068**	**2,866,113**
純資産の部		
株主資本	**16,080,413**	**16,397,389**
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,539,178	4,539,178
利益剰余金	11,792,703	12,109,679
自己株式	△351,467	△351,467
その他の包括利益累計額	**△5,171**	**7,164**
その他有価証券評価差額金	△4,622	5,602
為替換算調整勘定	△548	1,562
純資産合計	**16,075,242**	**16,404,554**
負債純資産合計	**18,241,310**	**19,270,668**

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

連結損益計算書

（単位：千円）

科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	16,704,461	21,297,590
売上原価	13,531,537	17,181,774
売上総利益	3,172,924	4,115,815
販売費及び一般管理費	3,330,804	3,458,808
営業利益又は営業損失（△）	△157,880	657,007
営業外収益	107,793	78,699
営業外費用	9,768	49,106
経常利益又は経常損失（△）	△59,855	686,600
特別利益	8	404
特別損失	29,436	62,864
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△89,282	624,139
法人税、住民税及び事業税	20,952	18,007
法人税等調整額	△68,155	150,935
当期純利益又は当期純損失（△）	△42,080	455,196
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△42,080	455,196

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	350,184	608,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,283	△125,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△529,844	2,414
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△275,012	488,028
現金及び現金同等物の期首残高	8,056,541	7,781,529
現金及び現金同等物の期末残高	7,781,529	8,269,557

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

連結株主資本等変動計算書（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	4,539,178	11,792,703	△351,467	16,080,413	△4,622	△548	△5,171	16,075,242
当期変動額									
剰余金の配当			△138,220		△138,220				△138,220
親会社株主に帰属する当期純利益			455,196		455,196				455,196
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						10,225	2,110	12,336	12,336
当期変動額合計	－	－	316,975	－	316,975	10,225	2,110	12,336	329,312
当期末残高	100,000	4,539,178	12,109,679	△351,467	16,397,389	5,602	1,562	7,164	16,404,554

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

貸借対照表

（単位：千円）

科目	前期（2022年3月31日現在）	当期（2023年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	**10,436,791**	**11,452,184**
現金及び預金	7,073,731	7,483,943
受取手形	89,985	164,130
売掛金	1,491,236	2,089,261
有価証券	1,300,000	1,200,000
商品及び製品	343,759	371,855
原材料及び貯蔵品	19,524	20,703
１年内回収予定の関係会社長期貸付金	66,666	66,666
その他	57,199	60,084
貸倒引当金	△5,310	△4,460
固定資産	**6,644,879**	**6,419,430**
有形固定資産	**4,216,313**	**4,158,071**
建物	423,924	383,691
構築物	8,571	6,397
機械及び装置	28,083	24,965
車両運搬具	2,549	1,271
工具、器具及び備品	46,873	35,434
土地	3,706,311	3,706,311
無形固定資産	**57,813**	**52,819**
借地権	21,741	21,741
ソフトウェア	29,537	24,542
電話加入権	6,535	6,535
投資その他の資産	**2,370,752**	**2,208,538**
投資有価証券	1,278,888	1,394,640
関係会社株式	347,163	347,163
出資金	49,714	19,976
関係会社長期貸付金	66,666	－
破産更生債権等	3,892	4,324
長期前払費用	14,571	15,157
繰延税金資産	288,984	118,968
保険積立金	69,424	72,167
前払年金費用	205,364	195,879
その他	60,014	44,587
貸倒引当金	△13,932	△4,324
資産合計	**17,081,671**	**17,871,615**

科目	前期（2022年3月31日現在）	当期（2023年3月31日現在）
負債の部		
流動負債	**1,376,164**	**1,958,348**
支払手形	15,637	31,453
買掛金	1,029,340	1,531,829
未払金	129,343	138,542
未払費用	60,850	61,734
未払法人税等	3,423	4,544
預り金	6,933	6,568
賞与引当金	119,495	117,503
役員賞与引当金	4,350	2,040
その他	6,791	64,132
固定負債	**322,932**	**324,677**
退職給付引当金	167,332	167,272
役員退職慰労引当金	85,726	88,999
その他	69,873	68,406
負債合計	**1,699,096**	**2,283,026**
純資産の部		
株主資本	**15,387,197**	**15,582,986**
資本金	**100,000**	**100,000**
資本剰余金	**4,539,178**	**4,539,178**
資本準備金	2,295,156	2,295,156
その他資本剰余金	2,244,021	2,244,021
利益剰余金	**11,099,486**	**11,295,275**
利益準備金	124,250	124,250
その他利益剰余金	10,975,236	11,171,025
別途積立金	7,350,000	7,350,000
繰越利益剰余金	3,625,236	3,821,025
自己株式	**△351,467**	**△351,467**
評価・換算差額等	**△4,622**	**5,602**
その他有価証券評価差額金	**△4,622**	**5,602**
純資産合計	**15,382,574**	**15,588,588**
負債純資産合計	**17,081,671**	**17,871,615**

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

損益計算書

（単位：千円）

科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	15,339,021	18,848,022
売上原価	12,482,567	15,176,261
売上総利益	2,856,454	3,671,760
販売費及び一般管理費	3,050,483	3,157,589
営業利益又は営業損失（△）	△194,029	514,171
営業外収益	115,276	85,960
営業外費用	2,127	32,123
経常利益又は経常損失（△）	△80,880	568,008
特別利益	8	199
特別損失	29,436	62,863
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△110,308	505,344
法人税、住民税及び事業税	6,847	6,847
法人税等調整額	△67,830	164,488
当期純利益又は当期純損失（△）	△49,324	334,009

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

株主資本等変動計算書（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
						別途積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	100,000	2,295,156	2,244,021	4,539,178	124,250	7,350,000	3,625,236	11,099,486	△351,467	15,387,197	△4,622	△4,622	15,382,574
当期変動額													
剰余金の配当							△138,220	△138,220		△138,220			△138,220
当期純利益							334,009	334,009		334,009			334,009
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）											10,225	10,225	10,225
当期変動額合計	－	－	－	－	－	－	195,789	195,789	－	195,789	10,225	10,225	206,014
当期末残高	100,000	2,295,156	2,244,021	4,539,178	124,250	7,350,000	3,821,025	11,295,275	△351,467	15,582,986	5,602	5,602	15,588,588

（記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。）

トピックス

FOODEX JAPAN 2023　（第48回国際食品・飲料展）に出展いたしました！

2023年３月７日（火）～３月10日（金）の４日間、東京ビッグサイトで開催されました、FOODEX JAPAN 2023に出展いたしました！

お節商材、新商材、GFCがおススメする地産商材などシーンに合わせた食材を数多く出品し、多数の新規ユーザー様と直接商談することができました。

今後も、新たな事業分野にマッチした商品開発を推し進め、事業領域を拡大し、売上の拡大に繋げてまいります。

2024年　新春お節料理について

当社では、毎年９月30日現在における株主様のご所有の株式数に応じて、当社取扱商品を贈呈する株主優待制度を導入しております（詳細は本報告書の裏表紙をご参照ください）。

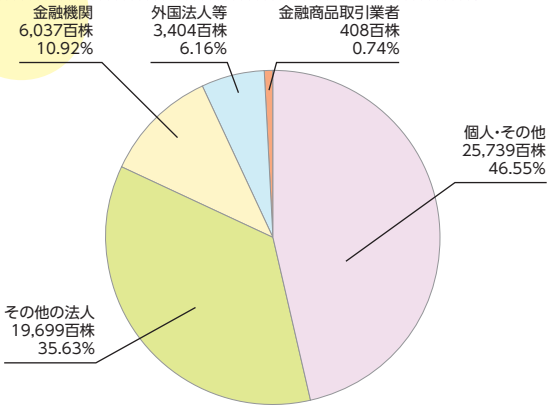
また、毎年、株主優待品のご送付に合わせて、当社の「お節料理」のご案内書も同梱させていただいております。株主様特別価格にてお買い求めいただけますので、ぜひ、当社自慢の「お節料理」で、皆様のお正月を笑顔で迎えていただけますことを社員一同願っております。

※以下の写真は昨年販売いたしましたお節料理の一部です。

● 株式数及び株主数

発行可能株式総数	21,870,000株
発行済株式の総数	5,528,806株
	（自己株式240,234株を除く）
単元株式数	100株
株主数	3,894名

● 所有者別株式分布状況（自己株式除く）

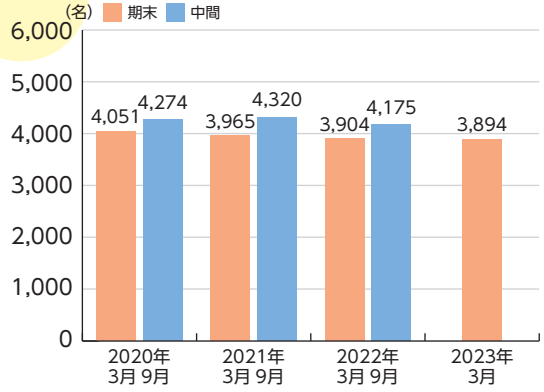


● 大株主

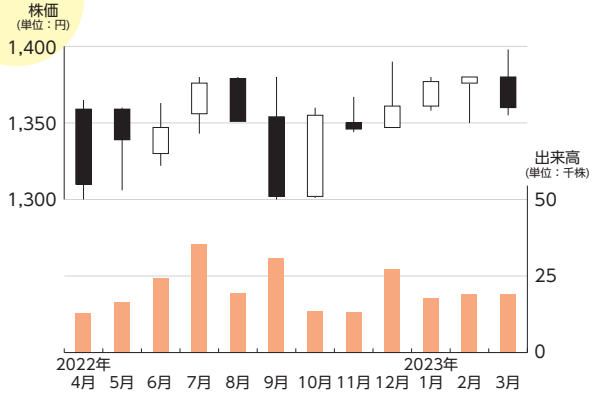
株主名	持株数（百株）	持株比率（%）
有限会社ニシムラ	14,920	26.98
ジーエフシー取引先持株会	7,528	13.61
株式会社十六銀行	2,430	4.39
ジーエフシー従業員持株会	2,141	3.87
株式会社大垣共立銀行	1,890	3.41
西村牧子	1,820	3.29
西村悦郎	1,700	3.07
西村美枝子	1,700	3.07
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	1,291	2.33
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA GENEVA - SEGREG HK IND1 CLT ASSET	1,187	2.14

（注）持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

● 株主数の推移



● 株価及び出来高の推移



● 会社の概要

（2023年3月31日現在）

商号	ジーエフシー株式会社
本社	〒501－6193 岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の１
設立年月日	1972年８月31日
事業内容	業務用加工食材卸
資本金	100,000,000円
営業所	仙台営業所（仙台市宮城野区） 東京営業所（東京都中央区） 大阪営業所（大阪市此花区） 福岡営業所（福岡市博多区）
従業員数	205名

● 役　員

（2023年6月29日現在）

代表取締役社長	西村公一
取締役	苗村彰仁
取締役	丹羽　淳
取締役（監査等委員）	飯尾照男
取締役（監査等委員）	葛西良亮
取締役（監査等委員）	岡田昌也
取締役（監査等委員）	高橋克徳

（注）1. 取締役（監査等委員）葛西良亮氏、岡田昌也氏及び高橋克徳氏は、社外取締役であります。
2. 当社は、取締役（監査等委員）葛西良亮氏、岡田昌也氏及び高橋克徳氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届けております。

● 営業拠点

◆ 一般消費者向けサイト『和食党』

私たちが住む日本には、美しい四季があり、四季折々の豊かな自然は、私たちに様々な恩恵を与えてくれます。その様々な恵みが与えてくれる、わが国特有の素晴らしい「和食」。

「和食党」はその日本の誇れる“食文化”を大切にし、日本人の食生活や健康、世代を超えた人々の“笑顔”に貢献するため、「食のシーン」の提案をしてまいります。

ぜひ、お立ち寄りください。

https://washokuto.jp/

左記のQRコードにて『和食党』をご覧いただけます。

当社ホームページをご覧ください。

株主様・投資家様向けのIR情報から新商品などの取扱商品まで、様々な会社情報を随時開示しております。
ぜひ、ご覧ください。

上記のQRコードにて
当社ホームページを
ご覧いただけます。

https://gfc-jp.com/

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町１－１　電話　0120－232－711（フリーダイヤル） 郵送先　〒137－8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード
証券コード	7559
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　https://gfc-jp.com/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 株主優待のご案内

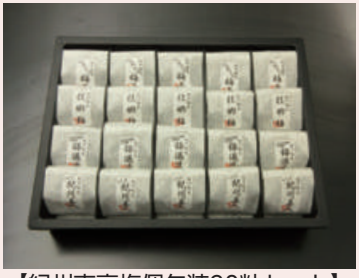
当社では、ご所有の株式数に応じて当社取扱商品を贈呈する株主優待制度を導入しております。
毎年、9月30日現在のご所有株式数100株以上1,000株未満の株主様に対し、2,000円相当、1,000株以上10,000株未満の株主様に対し、5,000円相当、10,000株以上の株主様に対し、10,000円相当の当社取扱商品を年1回贈呈いたします。

2022年度　株主優待品

2,000円相当の商品

【ごはんのおとも詰合せ】

5,000円相当の商品



【紀州南高梅個包装20粒セット】

10,000円相当の商品

【飛騨牛もも・飛騨なっとく豚ロース　しゃぶしゃぶセット】

＜お問合せ先＞
ジーエフシー株式会社　総務人事部
〒501-6193　岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1
電話　058-387-8181（代表）

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK